



**見せましょう、産官学連携の力を  
—スポーツ社会の明るい未来創造を目指して—**

**帝京大学大山ゼミナールC**

**田代恭次 石田悠馬 城地駿哉 藤原悠  
石黒誠 中尾由理 矢部稔真**

1. 緒言
2. 現状分析
3. 研究方法
4. 研究結果
5. 政策提言
6. 今後の展望

# 1. 緒言

---

# スポーツ産業の拡大



スポーツ庁

スポーツ産業が日本経済をリードする  
成長産業として発展することが期待される

国や自治体、金融、大学、競技団体が  
連携し互いの経験・知恵・資源を融合

新たなスポーツ産業の創出を進める必要がある

## 渋谷・青学体育館に本拠地

9月に開幕するバスケットボール男子の新リーグ「Bリーグ」に参加する日立サンロッカーズ東京・渋谷は31日、青山学院大学（東京・渋谷）の体育館「青山学院記念館」を本拠地として使用するを発表した。プロスポーツのトップリーグのチームが大学施設を本拠地として使うのは初めてと

### 日立プロバスケットチーム

いう。産官学の連携で地域振興を促して集客力を引き上げ、3年内の黒字確保をめざす。サンロッカーズは1993年創部のチームが起源の古豪。ナショナルリーグ（NBL）に参加し、天皇杯・全日本総合選手権大会で優勝した実績を持つ。NBLとTKBリーグの統合に

### 産官学連携で地域振興



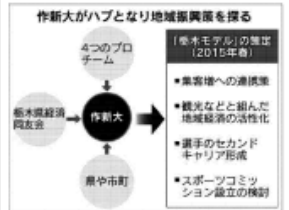
左から岡社長、三木・青山学院大学長、長谷部・渋谷区長、広瀬選手  
本拠地を探していた。子供向けスポーツ教室の開催や、ストリートファッションのイベント参加を検討する。前シーズンの1試合の平均入場者数は1300人強。サンロッカーズの岡博章社長は「地域との協創で3千人、4千人と伸ばせ、Bリーグ発足にあわせ、バスケの盛んな渋谷で」と話した。

**渋谷区、青山学院大学、サンロッカーズ渋谷の産官学連携で地域振興を促す。**  
**トップスポーツチームが大学施設を本拠地として使うことで注目された事例**

# 作新学院大学「栃木モデル」の構築

作新学院大学(宇都宮市)が地元企業と連携し、サッカーなど栃木県内に本拠地を置くトップスポーツチームを活用した地域振興に着手した。4つのチームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。4にはバスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。4にはバスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。

## 作新学院大、スポーツで地域振興



## プロ4チーム、集客へ一丸



- 1つの票に4競技のプロチームがあるのは全国初にも珍しい
- サッカー
    - 栃木サッカークラブ
  - バスケットボール
    - リソク栃木ブレイクス
  - アイスホッケー
    - H.C.栃木日光アイスバックス
  - 自転車ロードレース
    - 宇都宮アリアヴェン
    - 東海アライゼン(研究会には不参加)

## 互いに応援派遣など

作新学院大(宇都宮市)が地元企業と連携し、サッカーなど栃木県内に本拠地を置くトップスポーツチームを活用した地域振興に着手した。4つのチームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。4にはバスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。

「栃木モデル」の推進(2015年春)

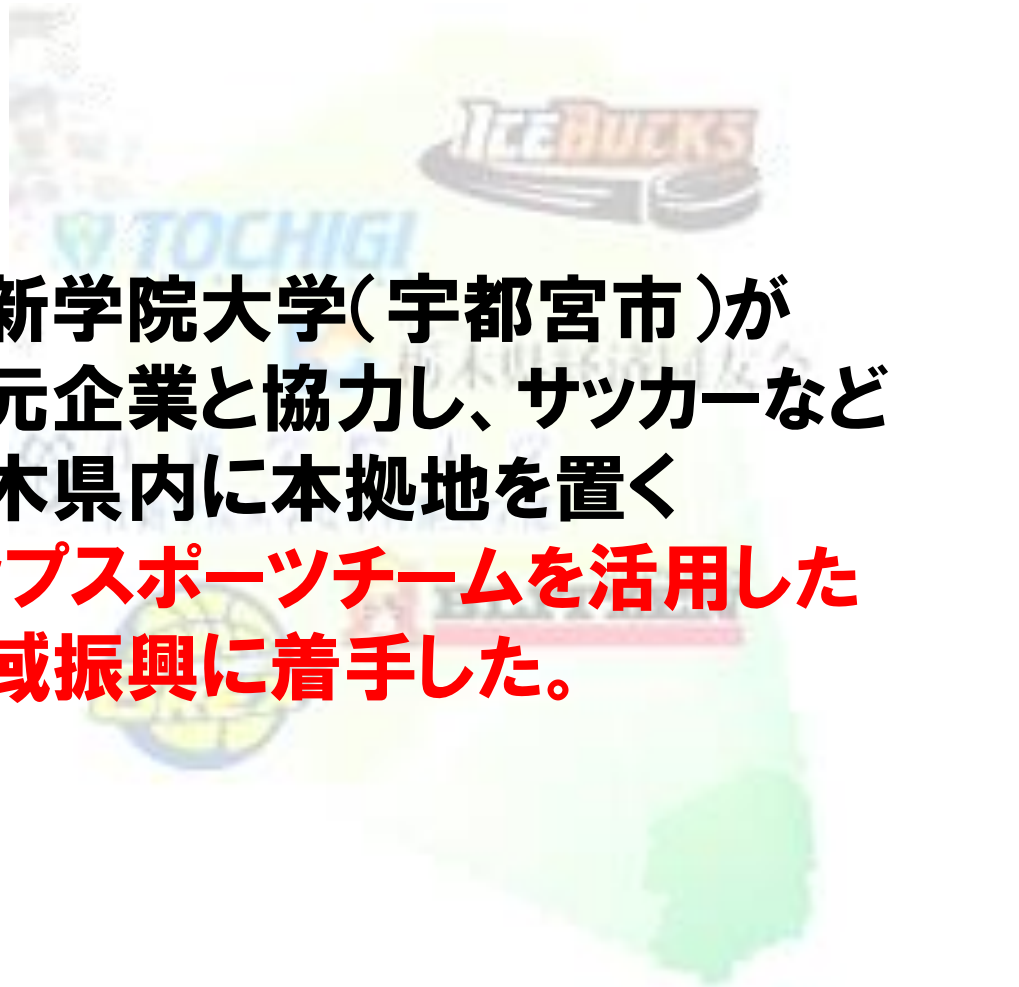
- 地域振興への連携
- 観光などと組んだ地域経済の活性化
- 選手のセカンドキャリア形成
- スポーツコミュニティの創出

「プロ4チーム」は、バスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。4にはバスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。

## 来春に「栃木モデル」

作新学院大(宇都宮市)が地元企業と連携し、サッカーなど栃木県内に本拠地を置くトップスポーツチームを活用した地域振興に着手した。4つのチームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。4にはバスケットボール、フットサル、バレーボール、アイスホッケーの4チームが共同でファンサービスを通じて観客を増やす。

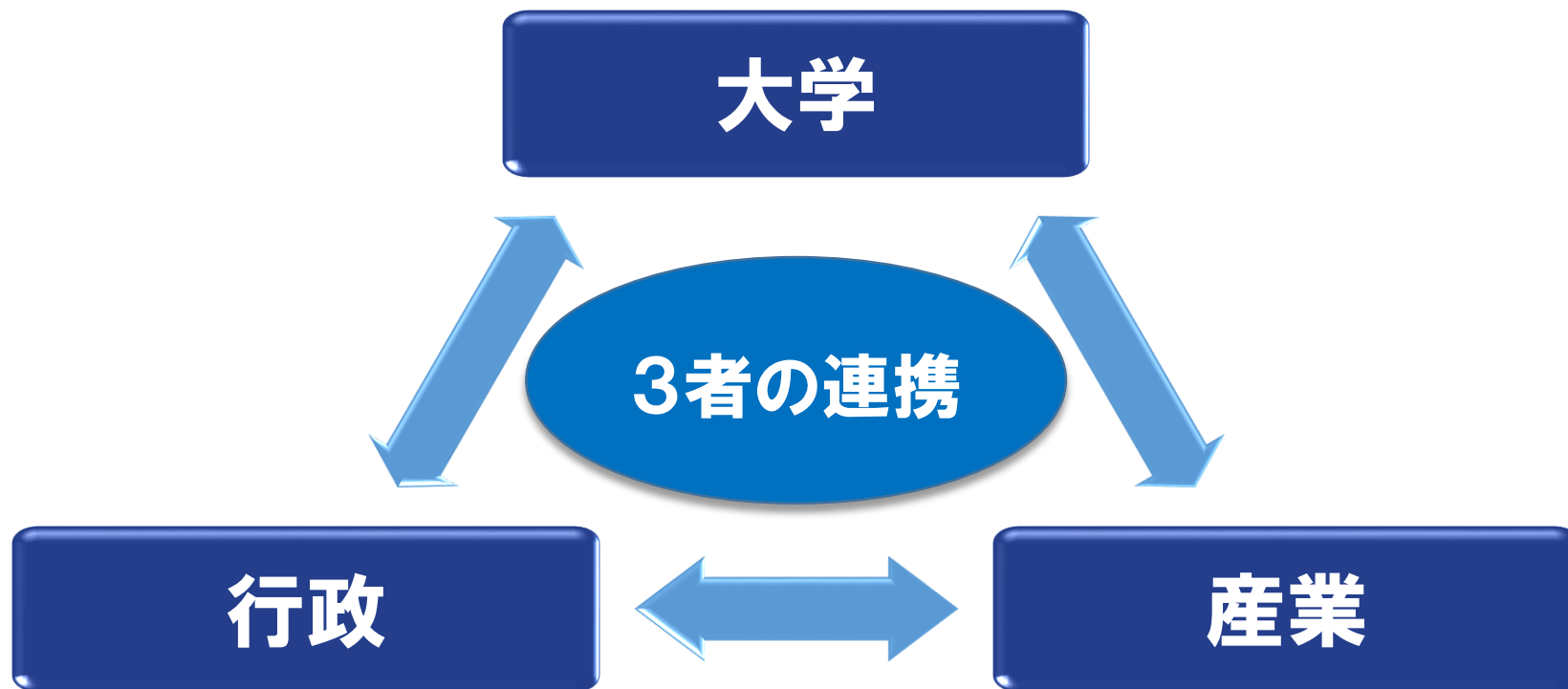
# 作新学院大学(宇都宮市)が 地元企業と協力し、サッカーなど 栃木県内に本拠地を置く トップスポーツチームを活用した 地域振興に着手した。



# 「栃木モデル」の基本コンセプト



# 産官学連携とは



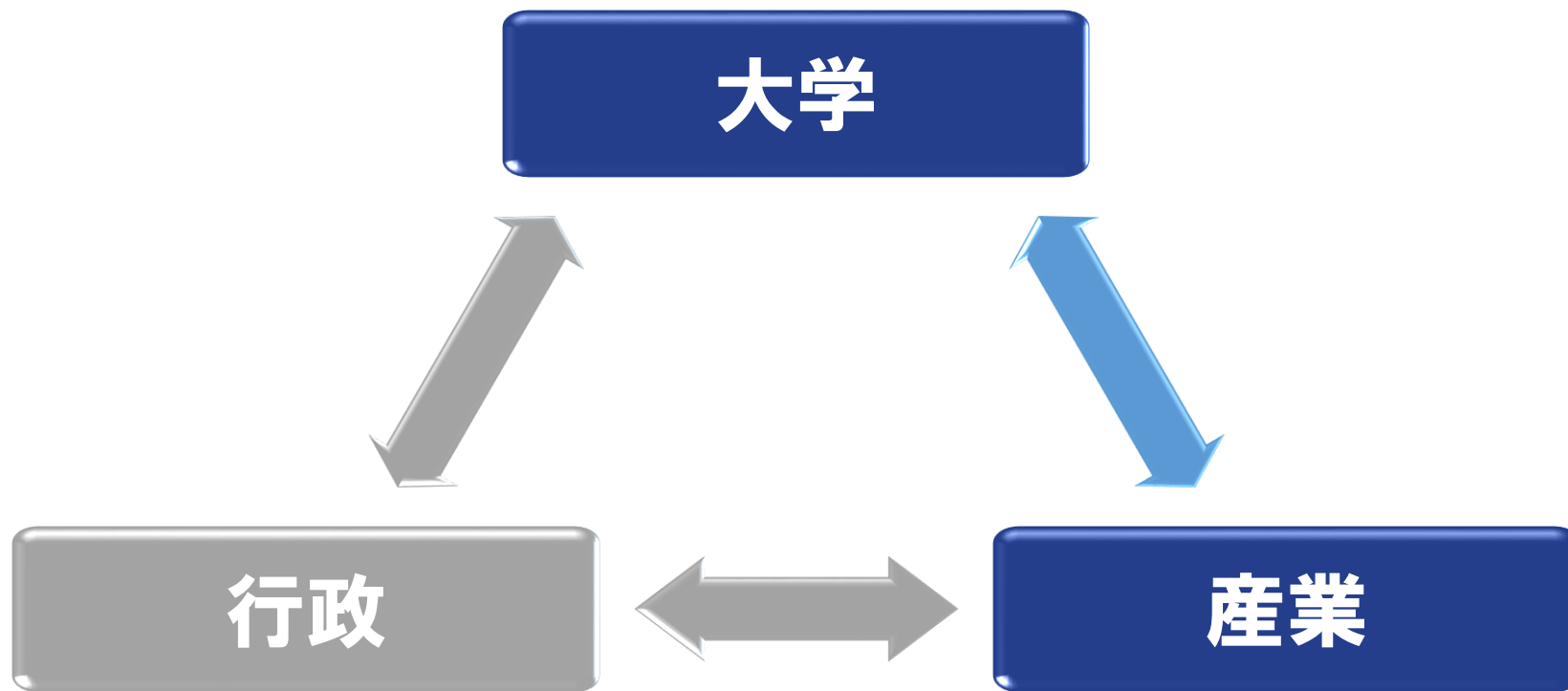
**産官学連携は3者の活性化と  
日本社会の発展に大いに寄与するもの**



## 2. 現状分析

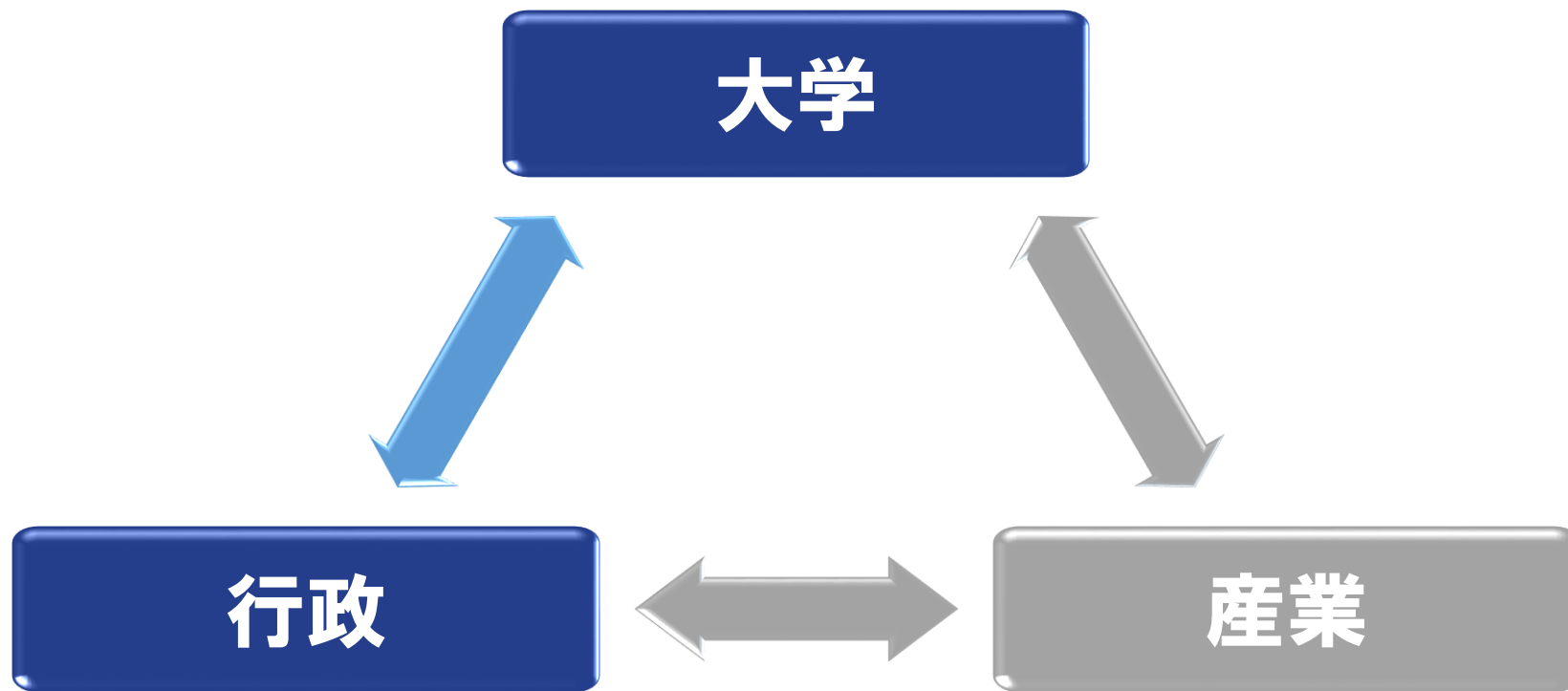
---

# 産学連携の課題



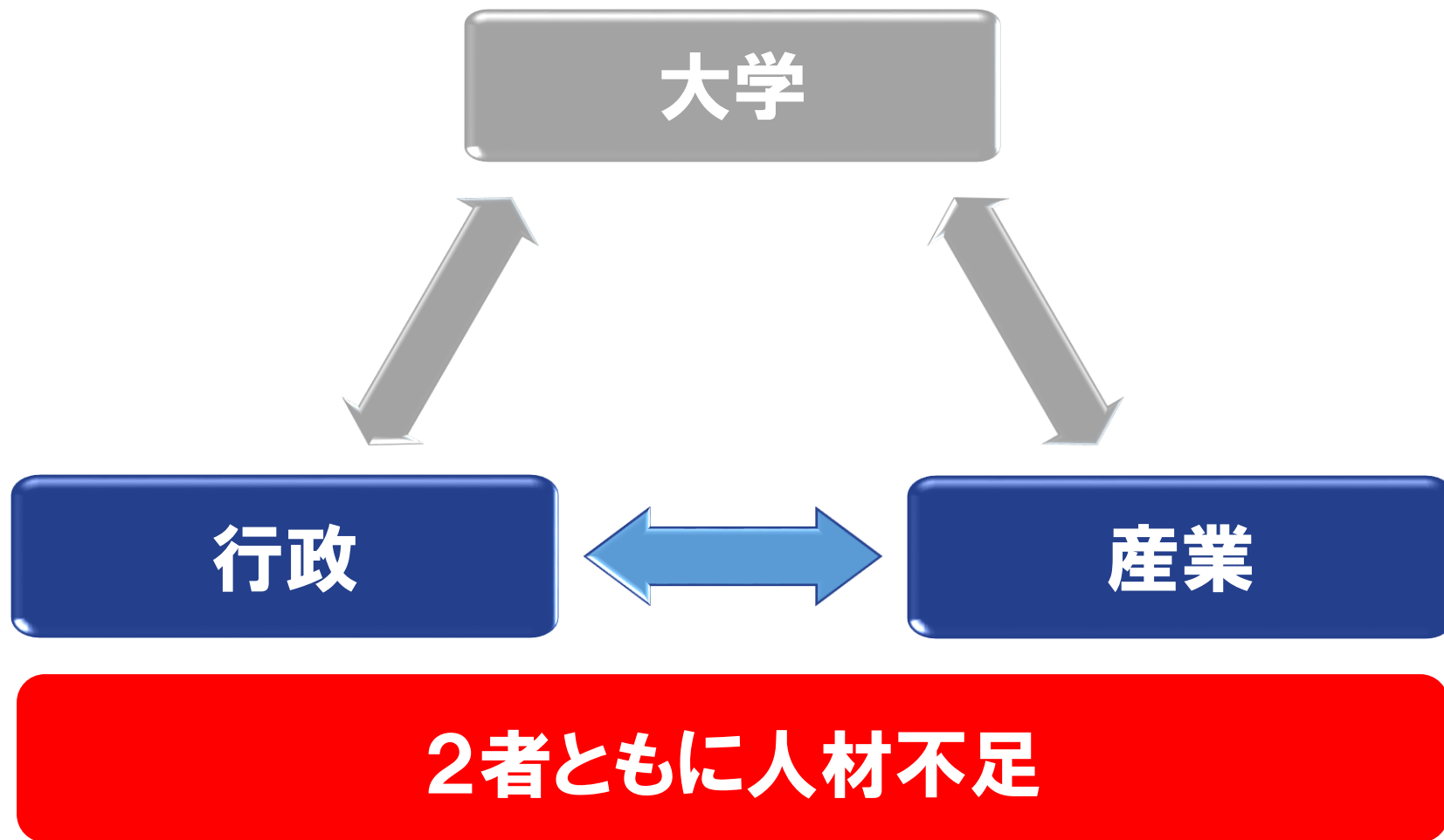
**地域のニーズに合った貢献活動ができない**

# 官学連携の課題

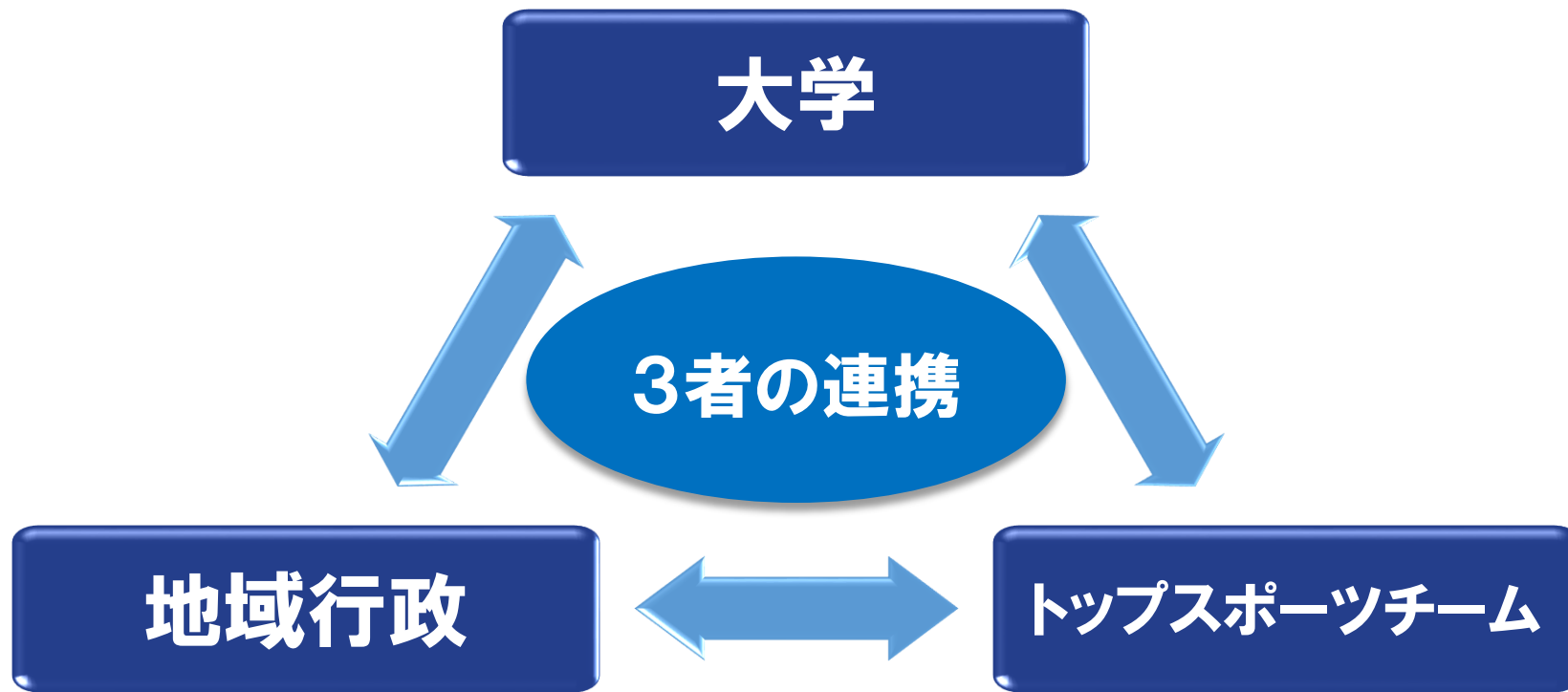


**産業が参入しないと  
ビジネスチャンスが創出できない**

# 産官連携の課題



# スポーツ産業の拡大のために



スポーツ社会のさらなる発展のために  
産官学連携を促進することは有意義である



# 「IGACスポーツ活性委員会」設立の提案

※産官学連携 (Industry-Government-Academia Collaboration)



# 3. 研究方法

---

## 1. 文献調査

新聞記事・雑誌・書籍・各種ホームページの情報

## 2. インタビュー調査

「産」、「官」、「学」の3者が連携してスポーツ政策に取り組む実態を知るために、メールやインタビューによる調査を実施した。





# インタビューの概要

実施日	訪問先	訪問目的	部署・役割	講演者・担当者
8月24日	帝京大学	大学スポーツ施設使用に関するヒアリング	学生サポートセンター	小林 崇 様
8月25日	渋谷区庁	渋谷区における地域スポーツ振興に関する調査	渋谷区長	長谷部 健 様
9月3日	広島都市学園大学	広島都市学園大学 × 広島ドラゴンフライズの連携に関する調査	学生課	花房 宏 様
9月7日	NPO法人 府中アスレティック F.C.	NPO法人 府中アスレティックF.C.の 興業に関する調査	事務局	伊藤 崇浩 様

# インタビューの概要

実施日	訪問先	訪問目的	部署・役割	講演者・担当者
9月8日	京都産業大学	京都産業大学 × 京都ハンナリーズの 連携に関する調査	学生部	飛岡 諒 様
9月8日	東京ヴェルディ	帝京大学 × 東京ヴェルディの 連携に関する調査	パートナー 営業部	鈴木 雄大 様
9月12日	千葉商科大学	千葉商科大学 × 千葉ジェッツの 連携に関する調査	学部事務課	石川 浩人 様
10月18日	作新学院大学	「栃木モデル」に 関する調査	経営学部 スポーツ マネジメント 学科長	小山 さなえ 様

## 4. 研究結果

---

# KJ法により導き出されたキーワード

人材の活用（人材育成）

地域貢献活動

情報発信（広告宣伝）

# 人材の活用（人材育成）

**千葉商科大学**

**授業の一環**

**インターンシップ  
(実学の場)**

**作新学院大学**

**スポーツ  
マネジメント学科**

**インターンシップ  
(実学の場)**

# KJ法により導き出されたキーワード

人材の活用（人材育成）

地域貢献活動

情報発信（広告宣伝）

# 広島都市学園大学の地域貢献活動



2013年 広島ドラゴンフライズ創設  
・創設当時、練習場所等が不足していた

広島都市学園大学がこの状況に着目

スポーツ振興、地域貢献の観点から体育館の貸し出し

# 作新学院大学 4プロ共同イベント実施

**作新学院大学生チャレンジ企画**  
**とちぎプロスポーツまつり**  
～4プロスポーツでつくる子どもたちの笑顔～

**5月5日(木)** 10:30～15:00  
開場 10:00～

会場：マロニエプラザ  
栃木県立宇都宮産業展示館  
宇都宮市元町 6-1-37

**みんなで、大運動会!**  
プロの選手も参加予定!  
4チーム対抗の運動会を開催!

**運動会参加者募集中!**  
作新学院大学とちぎプロスポーツまつり実行委員会  
028-670-3614

**4プロチームPRコーナー**  
選手とのふれあい、楽しいアトラクション、あの選手が、競技指導!?

**B級グルメ**  
餃子、焼きそば、デザート等、  
栃木を代表するB級グルメが出演!

**スタンプラリー**  
ミッションをクリアして、超レア品を  
Get!!しよう。  
参加者にもれなく、オリジナルスタンププレゼント!

**世界に一つだけのモノ作り  
チャレンジコーナー**  
キッズだけでなく、保護者も楽しめる  
ワークショップが盛りだくさん☆

**ACCESS**  
宇都宮駅南口から徒歩約15分  
※駐車場には限りがございます。なるべく公共交通をご利用ください。

**【共催】** 作新学院大学・(公社)栃木県経済同友会(地域活性化支援実行委員会)・(株)栃木サッカークラブ・  
(株)リンクスポーツエンターテインメント・(株)栃木ユナイテッド・サイクルスポーツマネージメント(株)  
大高商事グループ【(株)大高商事・(株)藤井産業・(株)五光宇都宮店・(株)下野新聞社】

**【後援】** 栃木県・宇都宮市・(株)とちぎテレビ・(株)栃木放送・(株)エフエム栃木・(株)足利銀行・(株)栃木銀行・(株)おしごん総合研究所

宇都宮市の展示会場で4プロ選手も参加する運動会やB級グルメの販売などを行った。

学生もイベントに関わり、**運営ノウハウ**を学ばせる狙いもあった。



# KJ法により導き出されたキーワード

**人材の活用（人材育成）**

**地域貢献活動**

**情報発信（広告宣伝）**

# 京都産業大学の施設開放



大学50周年記念に京都産業大学  
総合体育館で京都ハンナリーズの  
公式試合を実施

NHK総合で放送

大学の名前を広げるための広告宣伝としての  
効果・実感があったと述べていた。

# 広島都市学園大学の広告宣伝

## 広島都市学園大学は広島ドラゴンフライズのクラブパートナー



**大学のCMに選手が出演**

**大学広報として協力を得ているとの回答を得た**

## 4つのトップスポーツチームとの 連携拠点として作新学院大学に スポーツマネジメント推進センターを設立

メディアに  
取り上げられるようになった

広告宣伝の効果があると回答を得た

### スポーツ軸に地域振興

#### 作新学院大 研究組織を開設

作新学院大学（宇都宮 1ヶ2部（1と2）の栃木 策などを研究する。成果  
市）は10月、スポーツを サッカークラブ（栃木S は公開講座などで紹介す  
軸に地域振興を研究する C）など県内のプロスポ 考えた。  
新組織「スポーツマネジ ーツ4チームと連携し、 新組織内には「スポ  
メント推進センター」を スポーツを通じて観光誘 ツ振興部会、「人財育成  
開設する。サッカーJリ 客策や効果的な選手育成・活用部会」の2部会を

設ける。スポーツ振興部 から経営学部内に設けたス  
会はスポーツをビジネス ポーツマネジメント学科  
として成功させる方法や の授業にも成果を活用で  
チーム経営などを研究。 きるとみている。  
人財育成・活用部会では 21日に記者会見した同  
選手のキャリア形成や引 大の太田周学長は「スポ  
退後の働き方、生進スポ ーツチームとの連携策を  
ーツなどを調査する。 具体的な成果として形に  
研究成果は来年2月を する。栃木にスポーツ文  
メドに「栃木モデル」と 化を根付かせていく」と

話した。

# KJ法により導き出されたキーワード

**人材の活用（人材育成）**

**地域貢献活動**

**情報発信（広告宣伝）**

# 大学主導で連携の実現

## 青山学院大学×サンロッカーズ渋谷×渋谷区

青山学院大学の学長が地域貢献活動に前向きだったため実現

## 作新学院大学×4プロ×地元企業・行政

スポーツマネジメント学科設立をきっかけに実現

## 千葉商科大学×千葉ジェッツ

2011年に千葉商科大学がスポンサー契約を千葉ジェッツにもちかけた

## 広島都市学園大学×広島ドラゴンフライズ

広島都市学園大学が広島ドラゴンフライズへ体育館の貸し出しを打診

# 連携で大学が求める価値の多様化

スポーツ系の  
学部学科が有る

人材活用

スポーツ系の  
学部学科が無い

広告露出

地域に根ざした  
大学

地域貢献

# 3者の資源の有効活用



大学が地方自治体やトップスポーツチームらと連携することで  
我が国のスポーツ社会の発展に寄与できるのではないか



# インタビューから得られた課題

## 渋谷における課題

- ・渋谷には産官学の3者が定期的に情報共有する場がない

## 栃木モデルの課題

- ・今後の着地地点が定まっていない
- ・スポーツ政策は短期的に効果が見込めるものではない

# 5. 政策提言

---



# 「IGACスポーツ活性委員会」設立の提案

※産官学連携 (Industry-Government-Academia Collaboration)



# 「IGACスポーツ活性委員会」の役割



## 大学が地域のステークホルダーを取りまとめる役割を担う

- 産官学の3者で情報共有できる場を創出
- 3者が持つ資源の共有

# 連携で大学が求める価値の多様化

スポーツ系の  
学部学科が有る

人材活用

スポーツ系の  
学部学科が無い

広告露出

地域に根差した  
大学

地域貢献

# 「IGACスポーツ活性委員会」の存在意義

老人化しない  
(毎年人材が入れ替わる)

大学

大学だけでなく  
行政やトップスポーツチームにも活かされる場

地域行政

若者のマンパワー  
(シティプライドの醸成)

トップ  
スポーツチーム

若年層の認知や  
人材の獲得

## 6. 今後の展望

---

# 東京ヴェルディの知見

大学の  
ステークホルダー



Jリーグの  
ステークホルダー



スポーツで  
地域住民が  
豊かに



「健康」、「競技力」、「学び」など  
幅広いジャンルで豊かになると考えている



# NPO法人府中アスレティックF.C.の知見

大学

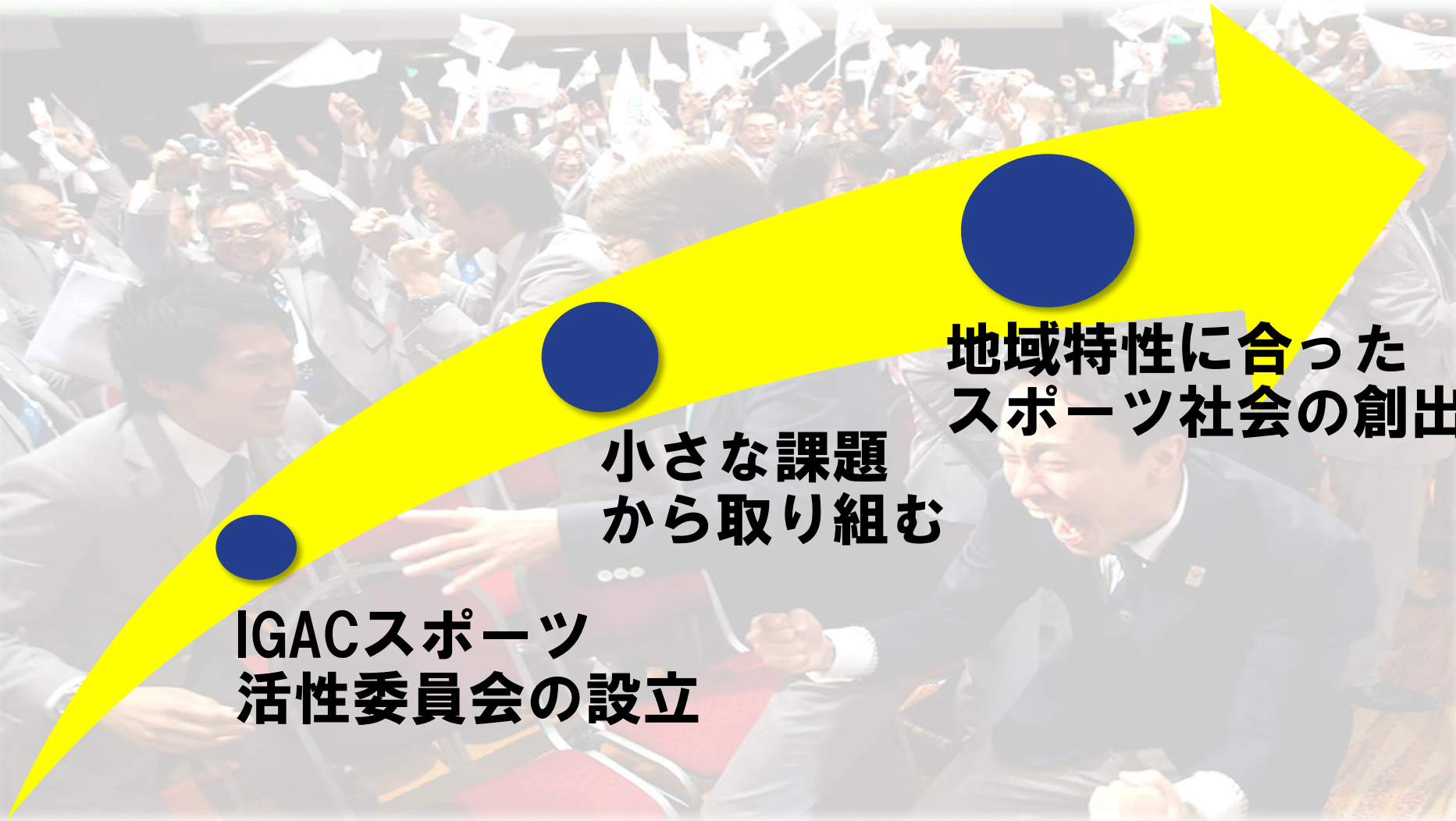
府中  
アスレティック  
F.C.

地域活性化  
プロモーションの拡充

企業・行政



# スポーツ社会の明るい未来創造



IGACスポーツ  
活性委員会の設立

小さな課題  
から取り組む

地域特性に合った  
スポーツ社会の創出

# 参考文献

- 日本経済新聞 地方経済面 北関東 「スポーツ軸に地域振興」 2014年8月22日
- 日本経済新聞 朝刊 「渋谷・青学体育館を本拠地に」2016年6月1日(水) 02  
1ページ
- スポーツ庁 経済産業省 スポーツ未来開拓会議中間報告 2016年6月
- 文部科学省 1.産学官連携の意義～「知」の時代における大学等と社会の発展のための産学官連携
- プロスポーツ振興「栃木モデル」構築に関する研究会 <http://www.sakushin-u.ac.jp/tochigimodel/>
- 自治体と「企業・大学・NPO」との連携  
[http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/H18/H18sum\\_renkei](http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/H18/H18sum_renkei)
- 経済産業省 地方自治体と地域企業の連携(取組の概要)  
[http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/group-ms/pdfs/19\\_01.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/group-ms/pdfs/19_01.pdf)

**ご清聴ありがとうございました**